

塩竈市議会だより

平成23年6月定例会号

- 定例会のあらまし、議案審議の概要 P 1
- 施政方針に対する質問、委員長報告 P 2
- 施政方針に対する質問、2月定例会一般質問項目 P 3
- 議案等賛否一覧表、決議、請願、人事、会派構成 P 4

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(364)1214 Aug.2011 (平成23年8月)
 ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/html/about/gikai/index.html>

震災後活気づく塩竈市魚市場



定例会のあらまし

平成23年第2回市議会定例会は、6月10日から6月23日までの14日間の会期で開催されました。

初日の本会議では、市長からの施政方針と議案の提案理由の説明が行われた後、総括質疑を行いました。また、議員提出議案1件を即決しました。

施政方針に対する質問は、14日、15日の2日間にわたり8名の議員が諸施策の方針などについて市当局の見解をたえました。各常任委員会は、16日、17日、20日の3日間にわたり開催され、付託された議案並びに請願について審査を行いました。また、21日には、東日本大震災塩竈市復興対策調査特別委員会が開催され、東日本大震災に係る市の復旧・復興対策について調査を行いました。

定例会最終日には、各常任委員長から審査結果の報告を受け、議案12件を原案のとおり可決し、請願1件を閉会中の継続審査としました。また議員提出議案1件を即決し、東日本大震災塩竈市復興対策調査特別委員会委員長の中間報告を行い、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は4ページ)

定例会会議日程

(本会議)	6月10日	会期の決定、諸般の報告、議案説明、総括質疑
	6月14日	施政方針に対する質問
	6月15日	施政方針に対する質問、議案付託
(委員会)	6月16日	総務教育常任委員会
	6月17日	民生常任委員会
	6月20日	産業建設常任委員会
	6月21日	東日本大震災塩竈市復興対策調査特別委員会
(本会議)	6月23日	委員長報告、議案審議及び採決、請願審議及び採決、議員提出議案審議及び採決、東日本大震災塩竈市復興対策調査特別委員会委員長中間報告

東日本大震災の復旧復興事業費等補正予算35億3156万円可決

6月定例会における一般会計の歳出に係る補正予算額は、東日本大震災に対応するため、災害復旧事業費、災害支援事業費、災害関連事業費を主な内容とした24億2206万円が追加計上されました。特別会計の補正額は、東日本大震災による災害復旧費等として、交通事業特別会計700万円、魚市場事業特別会計2500万円、下水道事業特別会計9億8510万円、漁業集落排水事業特別会計8300万円、土地区画整理事業特別会計940万円がそれぞれ追加されました。

6月23日の本会議において採決の結果、原案のとおり可決されました。この結果、一般・特別・企業会計の総額は、477億6341万円となりました。

施政方針概要

定例会初日、佐藤市長より示された施政方針の概要は次のとおりです。

【市政運営の基本方針】
 「第5次塩竈市長期総合計画」は、市政運営の基本であり、賑わいと活力にあふれ、市民の皆様が安心して住み続けていただけるまちづくりを力してまいります。

また、震災復興計画は、総合計画の安全で安心なまちづくりの分野を担うものと位置付け、本市のまちづくり計画の両輪として、実現に取り組んでまいります。計画の基本として、沿岸部や島嶼は甚大な被害であることから、計画期間を概ね10年とし、生活再建を最優先しながら、より快適で活力あるまちへの「復興」を目指してまいります。今後の10年のまちづくりは、「定住人口の確保」・交流の強化」・市民の連携強化」が最重要課題であります。

震災により甚大な被害を受けた塩竈市が、艱難辛苦を乗り越え長期総合計画の都市像「おいしさと笑顔がつどうみなとまち塩竈」を早期に多くの皆様に実感いただけるよう、着実に施策の成果を現れさせるため、本市の総力を挙げて実現してまいります。

【重点戦略】

▼「定住」では、「いつまでも住みたい、住んでみたい」まちを目指し、福祉、教育、住宅環境などを充実し、総合的な魅力を高める事業として、雇用促進住宅取得事業、高齢者に対する肺炎球菌ワクチン接種助成、大腸がん検診の受診率向上のための健康増進事業費、子育て支援として「赤ちゃんの駅」設置事業などに取り組めます。▼「交流」では、人・情報・文化・産業などのあらゆるものが交流するまちを目指し、塩竈の魅力ある地域資源を生かしながら、交流の強化につなげる事業として、水産加工業活性化支援事業、塩竈フォトフェスティバル事業、みなと産直イメージアップ事業などに取り組めます。▼「連携」では、市民の皆様が主体となるまちを目指し、お互いに尊重し合い、情報を共有しながら、共通の目標に向かってそれぞれの力を発揮できる環境を形成する事業として、市制施行70周年記念事業及び塩竈市教育フェスティバル事業に取り組めます。

対する質問

本会議における市長の施政方針に対する質問は、6月14日、15日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは質問の中から一つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った質問の項目も掲載しています。



くるくる広場（本町）

議員 本市を襲った大津波は沿岸部の最も高い所で4メートルを記録し、市中心部の住宅や商店街は深刻な被害を受けた。本塩釜駅周辺の再開発もほぼ完了し、海岸通への人の流れも多くなりつつあった矢先に未曾有の大震災と大津波に遭い、被災された市民の皆様は悲嘆の極みにある。被災者のご意見やご要望等を踏まえ、早急に浸水区域復興の青写真を提示し、商店街の再生の道筋をつけるべき。市の計画を伺います。

市長 震災後の商店街再生の取り組みについて、立ちおくれあることにはおわびしたい。震災前には中心市街地における交流人口の拡大に向けさまざまな取り組みに努めてきたが、その数は極端に減少している。一日も早い交流人口の拡大に向け、今後さまざまな取り組みをしたいが、やはり一定程度の時間がかかるものとする。被災された商店街の皆様のご意見等もできる限り拝聴しながら、今後の中心市街地のあり方について検討していきたい。



防災行政無線同報系設備（拡声子局）

議員 防災無線は、今回の震災で長期間停電が続き、発災後二日程度しか威力を発揮することができなかった。更新の際はバッテリーの容量を増やしていただきたい。また、市民に状況を的確に知らせるために、市内数か所に遠隔操作可能な防災監視カメラを設置する必要があるのではないかと。合わせて全箇所へ電光掲示板も設置すれば給水場所等やその他の情報もきめ細かに伝えることができるのではないかと。市長の考えを伺います。

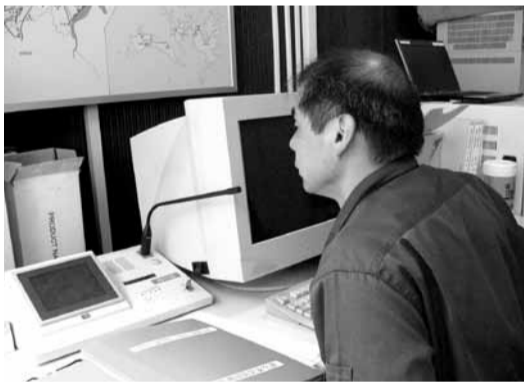
市長 今回の震災で防災無線が稼働できたのは2日間、48時間であった。残念ながら停電により2日後にバッテリーが上がってしまう事態になった。このことを反省材料に、今回デジタル化をお願いしているシステムの導入にあたっては、すべて3日間、72時間程度バッテリーを保つことができるようなシステムを導入したい。街の状況がわかるような設備の設置について、効果等についてもあわせて検討させていただく。



被災者総合相談窓口

議員 住まいと暮らしの再建についてお尋ねしたい。施政方針で住まいと暮らしの再建について述べられているが、私の認識では住まいと暮らしの再建に関しては、「緊急の住宅確保」、「恒久住宅の供給・再建」、「雇用の維持確保」等に分類されると思うが、これまでの取り組みと今後のスケジュールについて伺いたい。

市長 仮設住宅について、伊保石ステーション、塩釜ガス体育館駐車場敷地、あるいは浦戸の桂島、野々島、寒風沢に建設を行ってきた。恒久住宅対策については、国・県に対し第2次補正予算あるいは新たな震災立法等により対策を講じられるよう根気強く要望を行っている。雇用の問題について、一部の企業からは仮設工場というような提案がある。商店については仮設店舗の取り組み、浦戸については仮設のノリ工場をつくるなど、少しでも雇用の機会がふえるよう今後もお一層取り組んでまいりたい。



防災行政無線同報系設備（操作卓）

議員 津波対策は情報により生死を分けると言っても過言ではない。市の同報無線は市民の命がかかっているが、市民や町内会、議会等から風雨や音の反響により聞き取りにくいと問題視されている。緊急時にはこの情報のクリアさが求められ、危機管理上の重要課題であり、見直しの考えを示すべきと考える。

市長 今回、難聴地域の解消に向けた防災無線のデジタル化に係る補正予算案を計上している。音声データを化し送信することで、よりクリアな音質での伝達が可能となる。また、反響の多い地形のところに対応し拡声子局の設置場所の見直しや増設を図る。音声の通達エリアの拡大と指向性の強いスピーカーを設置することにより、難聴地域の解消を目指す。多くの市民の皆様から、サイレンは聞こえたが放送している内容が十二分に聞き取れなかったという声が寄せられており、一刻も早く解消すべきと考え、このような補正予算を計上している。



ニュー市民クラブ
阿部かほる

質問：○長総と震災復興計画の整合性
○放射能汚染の健康被害に備える
方策はほか



ニュー市民クラブ
鎌田礼二

質問：○震災復興計画の柱となる思い
切った事業が必要では
○長期総合計画の見直しほか



チェンジしおがま
伊藤博章

質問：○震災復興計画の策定
○産業・経済の再建ほか



チャレンジ
佐藤英治

質問：○震災復興計画と長期総合計画
の基本的な考え
○危機管理と災害の検証ほか

委員長報告

6月定例会において、議案12件が各常任委員会に付託され、慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおり。

総務教育常任委員長 伊勢由典
 ◎議案第38号、第40号、第42号、第48号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。
 〔一般会計補正予算に対する要望意見〕
 ○防災行政無線同報系設備の整備は、本市の地形を十分研究され、難聴区域の改善や未設置地区の解消を図るなど、災害等に係る緊急情報の伝達システムの実現に努め「だれもが安心して暮らせる安全なまち」の実現に向けて取り組まれます。

〔損害賠償の額を定めることに対する要望意見〕
 ○自治体職員の職務の遂行にあたっては、基本的に市民の生命・財産を守り、安全・安心を提供する使命を負う立場にあることから、自動車の運転は、法令遵守はもちろんのこと、常に周囲の状況に注意を払われ、的確な状況判断のもと、安全な運行に万全を期されたい。

民生常任委員長 浅野敏江
 ◎議案第39号、第42号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。
 〔一般会計補正予算に対する要望意見〕
 ○藤倉児童館の建て替えは、地域における子どもたちの健全育成の拠点として、建物の安全性の確保を徹底されるとともに、子どもたちがこれまで以上にさまざまな諸活動に取り組みことができるよう十分配慮され、当該施設にかかる災害復旧事業の推進に鋭意努められたい。

産業建設常任委員長 小野絹子
 ◎議案第42号、47号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。
 〔一般会計補正予算に対する要望意見〕
 ○災害廃棄物処理事業は、梅雨や台風などの時期において、一次仮置き場における害虫や臭気の発生など衛生

管理の問題が懸念されることから、その対策に万全を期されたい。担当部門が連携し市内の防疫対策についても計画的に取り組み、市民の良好な生活環境の確保に努められたい。
 ○り災商店再生支援事業は、東日本大震災により、被災した中小企業者、個人事業者等の事業を支援し、事業再開の促進を図る本市独自の事業であり評価する。被災された事業者等の支援を通じ、地域経済の再生に向け、より一層努力されたい。
 〔魚市場事業特別会計補正予算に対する要望意見〕
 ○魚市場施設災害復旧事業は、本市魚市場は被災した県内魚市場を補完する重要な役割を担うことから、早期復旧を図られ、宮城の食料基地としての役割を果たされるよう努力されたい。

特別委員長中間報告

東日本大震災塩電市復興対策調査特別委員長 香取嗣雄
 6月定例会において、特別委員長から中間報告が行われました。その要旨は次のとおり。
 特別委員会は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に係る本市の復旧・復興対策を調査検討することを目的に、4月28日の臨時会において議員全員をもって設置された。

これまで現地調査を含め5回の特別委員会を開催し、調査検討を行った。現地調査は、被災地域の現状と復旧・復興に向けた地域を的確に把握し、今後の復旧・復興計画等の策定や具体的な施策の実現に向けての総合的な取り組みの一環として、仮設住宅の建設用地、災害廃棄物の一次仮置き場、漁港施設、魚市場、津波の被災地域、被災した加工工場、埠頭など、特に甚大な被害を受けた地域を中心に現地調査を実施した。
 また、東日本大震災の対応状況について、市当局より関係者の出席と資料の提出を求め、詳細な説明の聴取と全委員による活発な質疑を行い、慎重に調査を行った。
 特別委員会は、本市の一日も早い復興を目指し、今後も最大限取り組みを申し上げ、中間報告する。

施政方針に



自民党市民の会
鈴木昭一

質問：○今後の災害時に耐え得る対策
○地域経済の再生 ほか

震災時の自主防災組織の見直しと各町内会同士の連携強化

議員 今回の震災では、避難場所に指定されていない集会所やコミュニティセンターに避難された住民に食料や物資が届かず、電話や携帯電話が機能せず、自主防災組織同士の連絡が取れなかった。そこで提案だが、自主防災組織を設置している町内会にデジタル簡易無線機を貸与し、震災時に各自主防災組織との連絡調整に活用することにより、市当局とさまざまな情報交換ができるようになるが市長の考えは。

市長 現在、市内に自主防災組織は59団体ある。災害時に市と自主防災組織との連携、協力が図られることは、地域防災力の強化に大きく貢献することになる。ただし、本市に割り当てられている周波数は一つである。このような中で、多数の無線機が使用されることにより、例えば混信等のおそれもあることから、運用面で若干課題があるものと考えられる。議員からご提案のあった事項も含め、効果的な今後の連携方法を模索していきたいと考えている。



集会所



公明党
小野幸男

質問：○復興計画の策定
○災害に強いまちづくり ほか

仮設住宅の課題への対応

議員 本市の仮設住宅は県内で一番早く入居が始まったが、新たな課題も指摘されている。まず孤立の問題が心配されている。入居者の方が孤独に陥らないための環境づくりの取り組みについてお考えをお聞きしたい。次に暑さ対策である。仮設住宅は夏場には蒸し暑い状態でもエアコンが必要な状態になるといふ。窓辺に植栽を植える「緑のカーテン」は大変有効だと思いが本市の取り組みのお考えをお聞かせ願いたい。

市長 孤独に陥らない環境づくりについては、仮設住宅には保健師と職員の定期的な巡回訪問を行い個人個人の健康カードを作成している。今後も継続的に、特に高齢者の皆様方や障害をお持ちの方々の支援にしっかりと努めてまいりたい。また、暑さ対策については、仮設住宅にはエアコンが標準装備されているが、ことしの夏は一方では節電対策が求められている。ご提案の「緑のカーテン」を含め、節電対策に努めてまいりたい。



仮設住宅（伊保石）



日本共産党塩竈市議員
中川邦彦

質問：○津波による陥没と浸水対策
○浸水地への工場や住宅の建設 ほか

北浜地区緑地護岸整備計画の見直し

議員 東日本大震災では高さ4メートルを超す津波が市内に到達している。緑地護岸整備事業は県の工事ですが、造船跡地は施設の撤去も進み、更地のままで今回の津波が北浜地区や藤倉地区の平地が浸水しました。県は防波堤の計画を昭和35年のチリ津波の高さ3.5メートルを基準にしていますが、防波堤の高さを含め計画の見直しを行うか、完成時期を早めるか、工法等について県に求めるべきではないか。市長の考えは。

市長 北浜地区の護岸緑地整備事業は災害防止と親水空間の創出のために県が行っている。大震災の影響で事業が若干遅れているが引き続き本年度から整備される予定である。防波堤は北浜緑地護岸のほか、港地区から貞山地区にかけて整備されているが、今回の津波は既往最高潮位を超えた。今後事業を見直し、国の災害査定を受け、復旧工事に着手すると判断している。現在も高潮時に冠水被害があり、応急復旧や防波堤の高さの見直しを強く要望していく。



緑地護岸整備地区（北浜）



日本共産党塩竈市議員
小野絹子

質問：○被災状況と地域指定
○藤倉児童館の復旧 ほか

新浜町保育所の存続

議員 平成25年に廃止予定の新浜町保育所には現在46名の子どもが入所し、マリフレッシュ事業等の実施で預かる子ども数は増えている。待機児童ゼロの方針に照らしても新浜町保育所は存続すべき。また、新浜町保育所付近は今回津波の被害は免れたが地震による液状化で地割れなどがあり、今後保育所の防災について地震や津波を想定した耐震化や藤倉児童館と同じように社会福祉施設の復旧として新浜町の安全な場所に建て替えを求める。市長の見解は。

市長 震災に係る国の災害復旧制度の改修・建て替えは、一定規模以上の災害が発生した建物等に認められるため新浜町保育所は該当しない。老朽化が進み今後保育を継続する場合には近い将来建て替えが必要になる。また、現行の保育施設整備の制度を考えた場合、公立保育所として建て替えることが極めて困難な現状と判断している。今後も引き続き保育児童等の推移を調査検討し、保育児童の環境の保持に努めたい。



新浜町保育所

2月定例会号につきましては、東日本大震災への対応のため休刊とさせていただきます。なお、2月定例会における議員の一般質問項目は次のとおりです。

1 鎌田礼二 議員

- ①市立病院 今後の展望
- ②水族館誘致 昨年から進展は
- ③水族館誘致のためのスタディー
- ④国民健康保険 保険料の個人負担額の算定
- ⑤資格証発行基準
- ⑥教育 学校給食施設の現状

2 吉川 弘 議員

- ①市長の市政運営 塩竈市の地域経済に対する認識
- ②市役所は最大の地域企業という考えでの市政運営の問題
- ③地域経済と市民の暮らしが守られる政策への転換
- ④国民健康保険事業 国保税引き下げ等の署名に寄せられた9472筆の市民の意思をどう受け止めているのか
- ⑤国保会計の収支見直し
- ⑥国民皆保険の立場から資格証、無保険者はなくすべき
- ⑦塩竈斎場の移転 斎場移転の経過と見直し
- ⑧泉塩釜線の整備及び玉川岩切線のかかわり
- ⑨法務局わきの市有地活用の地元要望

3 伊勢田典 議員

- ①地域経済の振興と佐藤市政の8年間 現状認識とこれまでの対応と責務
- ②中小企業振興条例を活用し地域資源循環型の転換と提言
- ③中小企業振興条例の市長の受け止め方と市長の立場
- ④10年ぶりの学習指導要領改訂と教育行政
- ⑤新年度に向けた対応とゆとり教育
- ⑥小中学校給食自校方式と食育
- ⑦自校方式
- ⑧第3次塩竈市行財政改革推進計画
- ⑨非正規職員の適正化と臨時職員雇用の見直し

4 今野恭一 議員

- ①塩釜港の現状と今後の整備計画
- ②商港としての再開を如何に推進すべきか
- ③漁港としての現状と魚市場の今後をどうすべきか
- ④浦戸振興の推進
- ⑤市営汽船による軽自動車運搬
- ⑥水族館構想
- ⑦水産業の振興
- ⑧魚市場と水産加工業の再生
- ⑨浅海漁業の振興
- ⑩雇用対策
- ⑪雇用の増大

5 浅野敏江 議員

- ①福祉政策
- ②自殺対策
- ③本市の実態と対策、就労の不安
- ④個人請負型就業者の実態と課題、心の不安
- ⑤認知行動療法の効果と傾聴活動
- ⑥がん予防
- ⑦早期発見の推進
- ⑧大腸がん検診

無料検診の推進

6 東海林京子 議員

- ①市長2期8年間の総括
- ②マニフェスト日本一住みたいまち塩竈の実現
- ③新組織見直し
- ④4月1日施行に向けての職場討議、組合との協議
- ⑤市立病院全適後の運営
- ⑥医薬実績、医師、看護師、医療スタッフ等の人的配置
- ⑦公契約条例を制定
- ⑧条例制定に関する考え方と実現
- ⑨浦戸PRのために
- ⑩浦戸二小、中学校の演劇自主公演
- ⑪マリニピア水族館の誘致
- ⑫市長の支援と将来的展望
- ⑬水路の危険箇所修繕
- ⑭藤倉2丁目バス停付近の水路
- ⑮婚活
- ⑯これまでの実績と今後の継続的取り組み

7 香取嗣雄 議員

- ①防災対策の今後の指針
- ②魚市場と港湾整備
- ③本市のスポーツ振興
- ④建設及び建築業界に対する振興策
- ⑤広域行政から合併への将来構想
- ⑥産業の誘致

8 菊地 進 議員

- ①政治姿勢
- ②第5次長期総合計画
- ③みなとまち塩釜港湾整備
- ④魚市場（卸売）の一元化
- ⑤水族館構想の取り組み
- ⑥産業の育成
- ⑦地域産業資源活用事業の取り組み
- ⑧浦戸の振興
- ⑨福祉
- ⑩教育
- ⑪不登校児童、学力向上

9 曾我三三 議員

- ①市の緊急経済対策
- ②地元事業所の現状と緊急的な経済支援策
- ③住宅リフォーム助成制度の実施
- ④子育て支援策
- ⑤保育所の待機児童ゼロ作戦の対応
- ⑥現在の公立保育所を今後とも維持すべき
- ⑦3歳児の療育援助
- ⑧乳幼児の療育相談室の設置
- ⑨療育指導ができる学童保育の増設
- ⑩高齢者福祉
- ⑪介護サービスの対象とならない高齢者の把握
- ⑫今後の対策
- ⑬配食サービスの現状と今後の改善策
- ⑭地域の問題
- ⑮集会所の建て替え
- ⑯（南錦町）
- ⑰都市計画道路の県道八幡築港線の整備

10 伊藤栄一 議員

- ①仙台塩釜港
- ②塩釜港
- ③航路の拡幅、浚渫
- ④商工業、漁港として今後の推移と塩竈ヴェネツィア計画
- ⑤公共料金
- ⑥上下水道料金
- ⑦国民健康保険税
- ⑧福祉事業
- ⑨介護サービスの事業
- ⑩学校教育
- ⑪道徳教育
- ⑫体験型活動、研修
- ⑬市内側溝整備

（議員は質問順に掲載しました。）

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成（請願第14号は継続審査の賛否）
×：議案等に対して反対 /：議長は採決に加わりません

※ 鈴木昭一議員の4月臨時会での所属会派はニュー市民クラブです。

議案番号・件名	会派名・議員氏名	公明党			日本共産党塩電市議団				ニュー市民クラブ			チェンジしおがま		自民クラブ		市民クラブ	チャレンジ	自民党市民の会	審議結果				
		浅野敏江	小野幸男	嶺岸淳一	曾我ミヨ	中川邦彦	小野絹子	吉川弘	伊勢由典	伊藤栄一	菊地進	阿部かほる	鎌田礼二	木村吉雄	東海林京子	伊藤博章	佐藤貞夫	志賀直哉		香取嗣雄	今野恭一	佐藤英治	鈴木昭一
議案第38号	塩電市市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第39号	塩電市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第40号	塩電市集会所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号	塩電市生涯学習センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第42号	平成23年度塩電市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第43号	平成23年度塩電市交通事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第44号	平成23年度塩電市魚市場事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第45号	平成23年度塩電市下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第46号	平成23年度塩電市漁業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	平成23年度塩電市土地区画整理事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第48号	損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第49号	塩電市集会所の指定管理者の指定の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第5号	塩電市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第6号	東日本大震災からの復興に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願第14号	高すぎる国民健康保険税の引き下げを求める請願	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（平成22年度塩電市一般会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（平成22年度塩電市下水道事業特別会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（平成22年度塩電市土地区画整理事業特別会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（平成22年度塩電市水道事業会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（塩電市行政組織条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて（災害による被害者に対する市税の軽減又は免除に関する条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて（塩電市保育所条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて（塩電市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて（災害による被害者に対する国民健康保険税の軽減又は免除に関する条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて（塩電市介護保険条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第11号	専決処分の承認を求めることについて（塩電市営汽船事業条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第12号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度塩電市一般会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第13号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度塩電市魚市場事業特別会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第14号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度塩電市公共駐車場事業特別会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第15号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度塩電市一般会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第16号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度塩電市水道事業会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第17号	専決処分の承認を求めることについて（塩電市と宮城県との間の災害廃棄物処理の事務の委託について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第33号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第34号	塩電市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第35号	塩電市震災復興本部設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第36号	塩電市震災復興計画検討委員会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第37号	平成23年度塩電市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第4号	塩電市議会委員会条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

市議会会派構成

6月1日現在の会派構成（届け出順）は次のとおりです。（○は会派の代表者）

- 公明党（3名）**
○ 嶺岸淳一 浅野敏江 小野幸男
- 日本共産党塩電市議団（5名）**
○ 小野絹子 吉川弘 曾我ミヨ 伊勢由典 中川邦彦
- ニュー市民クラブ（5名）**
○ 伊藤栄一 菊地進 木村吉雄 阿部かほる 鎌田礼二
- チェンジしおがま（2名）**
○ 東海林京子 伊藤博章
- 自民クラブ（3名）**
○ 香取嗣雄 志賀直哉 佐藤貞夫
- 市民クラブ（1名）**
○ 今野恭一
- チャレンジ（1名）**
○ 佐藤英治
- 自民党市民の会（1名）**
○ 鈴木昭一

決議

今定例会で可決された決議は次の1件です。
▼東日本大震災からの復興に関する決議

4月臨時会において、「東日本大震災塩電市復興対策調査特別委員会」が設置されました。この特別委員会は、東日本大震災に係る本市の復旧・復興対策を調査検討するため、全議員を委員として設置されたものです。

請願

今定例会で審議された請願は1件で結果は次のとおりです。
○閉会中の継続審査としたもの
▼高すぎる国民健康保険税の引き下げを求める請願

3月11日の東日本大震災により、犠牲となられた方々に対し深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。市民の皆様様の生活の安定と一日も早い復興に向け、市議会も全力で取り組んでまいります。

塩電市議会

人事

○議会運営委員の辞任
鎌田礼二議員から議会運営委員の辞任願が提出され、議長がこれを許可しました。

表彰

第87回全国市議会議長会定期総会（6月15日）において次の方々が表彰されました。
○正副議長在職4年以上 佐藤貞夫
○議員在職35年以上 小野絹子
○議員在職20年以上 吉川弘 志賀直哉 伊勢由典 浅野敏江

編集後記

市議会だより第183号をお届けいたします。このたびの大震災の影響により、2月定例会号を休刊しましたことを深くお詫び申し上げます。今後引き続き市民の皆様に関心される「市議会だより」づくりのために努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

議会編集委員会
委員長 菊地進
副委員長 伊勢由典
委員 浅野敏江 志賀直哉